

本科2期確認テスト講評(中3生)

●英語●

・中3選抜東大英語(3EJSS)

今回のテストは、不定詞・動名詞の応用、分詞構文といった難易度の高い単元が出題範囲となりました。主にテキストからの出題だったため、選抜クラスのみなさんには7~8割の得点をねらってほしいところでしたが、思うように点が伸びない人も多かったようです。

基本を確認する【2】【3】は全体的によくできていましたが、重要な箇所ですので、全ての問題に正解できるまで必ず復習をしてください。

【4】は空所を埋めた状態で、文全体を暗記してしまうとよいでしょう。不定詞・動名詞・分詞の使い分けは、今後大学入試に向けても非常に重要な分野になります。

【5】の英作文は、テキストに掲載されている英文も多く、ぜひ得点してもらいたい問題でした。失点が多かった人はテキストを再度確認し、英文の組み立て方を重点的におさらいしておきましょう。

【6】の長文読解の問題は、文法に加え、語彙力や、長文という形式に慣れているかというところも得点を左右するポイントになります。今後高校に進級すると長文読解の練習はよりたくさん行うことになるので、徐々に力がついていきます。今回あまり点が取れなかつたという人も心配せずに、まずは復習に力を入れましょう。和訳も参照しながら、単語がわからず読めなかつたのか、文法の理解が不十分だったのかなど、何が原因で失点したのかを振り返ってみてください。

・中3英語(3EJS)

今回のテストは、不定詞・動名詞の応用、分詞構文といった難易度の高い単元が出題範囲となりました。主にテキストからの出題でしたが、思うように点が伸びなかつた人もいるようです。

【2】【3】【4】は基本的な問題でしたので、取りこぼすことなく確実に満点を狙っていくことが重要です。

しかし、【4】の空所補充問題で得点が低くなっています。まずはそれぞれの表現をどんな場面で使うのかを意識して学習することが重要です。そのため、空所を埋めた状態で、文全体を暗記してしまうのもよい勉強法です。不定詞・動名詞・分詞の使い分けは、今後大学入試に向けても非常に重要な分野になります。

【5】は英作文で、テキストに掲載されている英文でしたので、もう少し得点したかった所です。

【6】の長文読解の問題は、文法に加え、語彙力や、長文という形式に慣れているかというところも得点を左右するポイントになります。すぐにできるようにはならないかもしれません、今後高校に進級すると長文読解の練習はよりたくさん行うことになるので、徐々に力がついていきます。心配せずに、今は目の前にある課題をこなしていきましょう。まずは長文を読みこなすために必要な基礎として、文法や単語を固めることを意識しましょう。

【7】の空所補充の得点が低かったようです。書き換えるにあたり、細かい指示がある出題だったので解きにくかったかもしれません。みなさんよくできていたので、この知識をもとにこれからの勉強も積み重ねていってください。

●数学●

・中3選抜東大・医学部数学(3MJS)

今回のテストでは、指数・対数関数と微分法を扱いました。高1生の通常授業でも数学Ⅱまでしか扱いませんが、中3選抜クラスでは数学Ⅲまでの範囲の微分法を学びました。数学Ⅱまでの微分法は正直言つて簡単なのですが、数学Ⅲとなると難しくなります。ただ、難しいが故に授業では時間をかけて学習し、直前の授業や添削、対策プリントなどで復習をする機会も設けました。これらを活用して復習した人はそれなりの結果を出せています。しかし、自分でしっかりと手を動かさず、見ただけで理解したつもりになっていた人が多かったようです。「分かったつもり」と「できる」は全く違うことがこのレベルになると極端にはつきりします。だからこそ中1のはじめからずっと、手を動かすことの大切さ、そしてそれを通じてはじめて理解ができるのだということを言ってきたのです。数学を甘く見てはいけません。

【1】は指数・対数の計算問題、【2】は指数・対数を用いた方程式・不等式でしたが、指数・対数の処理に慣れていない為、空欄が多く、正答率が低い結果でした。闇雲に計算していても意味がないので、改めて解き直し、筋道を立てて、結論を導く過程を習得しましょう。

【3】は微分法の計算問題でした。計算量が多くなりますが、比較的正解していました。積商の微分および合成関数の微分は数学Ⅲ範囲ですが、この機会に復習しておきましょう。

【4】は接線の方程式関連の問題でした。(1)の3次関数については、よくできていましたが、(2)は難しかったようです。数学Ⅲ範囲の微分計算に慣れた後に、解答できるか、是非解き直しをしておきましょう。

【5】は3次関数のグラフに関する問題ですが、比較的よくできっていました。グラフの概形をイメージして、増減表を完成させることができるので、スムーズに解答できなかった場合は、しっかりと復習しておきましょう。

【6】は指数・対数の応用問題ですが、大学入試では典型問題です。序盤は特に頻出問題なので、よく出ていましたが、後半はかなり難しいので、解説を基に理解しておきましょう。今すぐにできなくとも、次回お目にかかる際に解答できることを目指しましょう。

・中3数学(3MJS)

今回は、場合の数と確率の分野からの出題でした。

【1】【2】はそれぞれ場合の数、確率の計算問題でしたが、全体的によくできていました。このレベルの問題については得点源にできるよう、正確かつ手早く計算できるように練習を積んでおきましょう。

【3】は立方体の面に数を割り当てる、という題材でしたが、(2)でつまずいた人が多かったようです。対象の見た目にだまされず、どのように考えればヌケ・モレなく数え上げができるか、考え方を整理しておきましょう。

【4】は格子状の経路の数を数え上げる問題で、やり慣れている人も多くかなりよくできていました。通行止めが発生する、など状況が複雑になっても対応できるよう、手法を見直しておきたいところです。

【5】は二項定理に関する問題です。今回の問題は二項定理の範囲としては基本的な問題であり、よくできていました。応用範囲が意外と広い定理ですので、道具として使いこなせるようにしておきましょう。